

京都大学記者クラブ加盟各社 各位

2018.7.6 <計4枚>

立命館大学広報課

文化遺産や歴史都市の防災について考察する 「第12回歴史都市防災シンポジウム」の開催

歴史都市防災研究所は、「第12回歴史都市防災シンポジウム」を開催いたします。

文化遺産や歴史都市を自然災害や人災等から守る研究や技術開発は未だ十分ではなく、また早急に対応すべき課題が多いのが現状です。本シンポジウムは、代替性のない文化遺産をもつ歴史都市を自然災害から保全し、それを後世に継承するための研究や事例について発表の場を設け、地震、防災、避難計画など多岐にわたるセッションにおいて、広く研究者や関係者の意見交換を行うことを目的として開催するものです。

プログラムでは文化遺産や歴史都市の防災に関する37のテーマについて討議を行います。また、京都大学防災研究所の矢守克也教授が、「黒潮町の言葉を通して防災とまちづくりについて考える」と題した特別講演を行います。

本シンポジウムが、過去に経験した災害の歴史を知るきっかけになれば幸いです。

記

日時:2018年7月14日(土)10:30~18:00 (10:00 受付開始)

会場:立命館大学衣笠キャンパス 敬学館 KG208 教室、KG108 教室、KG009 教室

内容:学術論文発表、特別講演など

※詳細は別紙をご覧ください。

※プログラムが英文表記になっているものは、英語で行われます。

参加費:無料、事前申込み不要。どなたでもご参加いただけます。

ただし、シンポジウム終了後の意見交換会には参加費(一般2,000円、学生1,000円)が必要です。

主催:立命館大学 歴史都市防災研究所

詳細 URL : <http://www.r-dmuch.jp/jp/project/symposium/program.html>

以上

●取材・内容についてのお問い合わせ先

立命館大学 歴史都市防災研究所 シンポジウム事務局

担当:吉川

TEL. 075-467-8801(平日 9:30-17:00)

<http://r-dmuch.jp/jp/>

別紙 プログラムの詳細(内容は変更になる場合がございます)

	A会場 KG208 教室	B会場 KG108 教室	C会場 KG009 教室
10:30~11:50	A1. 防災技術(1)	B1. 歴史・地理	C1. 防災計画(1)
13:00~14:20	A2. 防災技術(2)	B2. 観光客	C2. 防災計画(2)
14:35~16:05	特別講演 (A会場 KG208 教室) 「黒潮町の言葉を通して防災とまちづくりについて考える」 矢守 克也 氏(京都大学防災研究所 教授)		
16:20~18:00	A3. 防災技術(3)	B3. 火災・防火	C3. 防災計画(3)
18:15~19:45	意見交流会(会費制:一般 2,000 円, 学生 1,000 円)		

【A会場】

A1. 防災技術(1) 10:30~11:50

- 【論文】限界耐力計算を用いた茅葺古民家の耐震性能評価及び耐震補強計画案に関する考察
- 【論文】土塗り壁の耐力を用いた土塗り小壁の骨格曲線評価
- 【論文】垂れ壁と腰壁で分割された無開口土塗り壁の復元力特性

A2. 防災技術(2) 13:00~14:20

- 【論文】柱脚浮き上がりを許容した壁を含む架構の水平耐力
- 【論文】壁土の改良方法に関する基礎研究
- 【論文】平成 29 年 7 月九州北部豪雨に伴う朝倉市内における文化財被害および斜面崩壊に起因する地質・地形・降雨量の空間分析
- 【報告】地盤環境に配慮した歴史的建造物の基礎補強対策工に関する提案

A3. 防災技術(3) 16:20~18:00

- 【論文】2016 年熊本地震における伝統構法木造建物の 3 次元地震応答解析
- 【論文】2016 年熊本地震における熊本城内の石垣被害および崩壊挙動解析
- 【論文】ネパール・ゴルカ地震によるパタン Jhatapol 地区の歴史的組積造建物群の被災度分析
- 【報告】ネパール・ゴルカ地震によるバクタプルの歴史的煉瓦造住宅建築の被害状況と常時微動性状に関する調査研究
- 【論文】イラン・聖ステファノス修道院における建造物及び表層地盤の動特性評価

【B会場】

B1. 歴史・地理 10:30～11:50

13. 【論文】大阪府の「式内社」の立地傾向と災害危険性から見た古代の神観念
14. 【報告】寛文十年(1670)、大坂を襲った高潮災害
15. 【論文】関東大震災における地震火災と防火体制
16. 【論文】全国社寺調査からみた文化財保有社寺における獣害

B2. 観光客 13:00～14:20

17. 【論文】松山城における非合理的避難の割合と被害の推移に関する研究
ーマルチエージェントを用いた避難シミュレーションー
18. 【論文】重要文化財・道後温泉本館の改修へ向けた公衆浴場の避難計画に関する研究
19. 【論文】観光客の防災意識に影響する要因に関する研究ー世界遺産姫路城を事例にー
20. 【論文】団体客を考慮した歴史都市における観光客の避難場所と避難経路に関する研究

B3. 火災・防火 16:20～18:00

21. 【論文】地震火災時の文化財建造物に対する防火対策検討プロセスの開発
ー東福寺及び周辺地区を事例としてー
22. 【論文】福島県西会津町奥川流域における中門造民家の残存状況及び防火性能に関する現状調査
23. 【論文】山梨県早川流域における兜造り民家の残存および防火意匠の現状調査
24. 【報告】四川省綿竹市霊官楼木塔火災の被害調査

【C会場】

C1. 防災計画（1）10:30～11:50

25. 【報告】3項道路指定における地域住民等の役割に関する研究
26. 【論文】京都市西陣地区の事前復興計画を想定した建築物の類型化およびその評価と防災型復興住宅モデルの提案
27. 【論文】密集市街地における街並み誘導型地区計画の効果と課題に関する研究
ー神戸市長田区野田北部地区を対象としてー
28. 【報告】Study on the Disaster Prevention Countermeasures about Historic Blocks in China - Taking A Yi Dun District of Yi Ning in Xingjiang Province as the Example

C2. 防災計画（2）13:00～14:20

29. 【論文】避難所設備の評価に基づく寺院・公益施設の活用可能性に関する研究
ー福井県若狭町熊川宿重伝建地区を対象としてー
30. 【報告】重伝建地区における防災訓練の実施とその改善方針の提案
ー島根県津和野重伝建地区を対象としてー
31. 【論文】A Spatial Study on Risk Analysis of Disasters Caused by Natural Hazards to Cultural Heritage in Indonesia
32. 【報告】Blue Shield Australia and the Protection of Cultural Property in the Event of Armed Conflict and Natural Disasters

C3. 防災計画（3） 16:20～18:00

33. 【論文】被災後の町の復興を支える神輿渡御－宮城県南三陸町保呂羽神社の春祭り－
34. 【報告】歴史都市における大規模震災を想定した被災後情報共有システムモデルの枠組みの検討
35. 【報告】歴史都市における災害対策の研究項目に関する調査
－『文化遺産防災ハンドブック』の改訂を目指して－
36. 【報告】災害文化遺産の展示手法と防災教育への活用－禹王遺跡展の事例から－
37. 【報告】『災害文化遺産 日本の禹王遺跡と治水神・禹王信仰展』の目的とその意義